

幕張新都心まちづくり将来構想原案作成の考え方（骨子から原案への変更箇所）

資料2

幕張新都心まちづくり将来構想（以下、将来構想という）骨子を作成し、第1回懇話会での意見や様々な関係者へのヒアリング等を踏まえ、将来構想原案の作成にあたり、以下のように基本的な考え方を整理するとともに、表現等を見直した。

1 骨子案から変更した内容

No.	章	該当項目	該当ページ	変更前（骨子案）	変更後（原案）	変更内容	考え方
1	全体	将来構想・フロー	3			「7.幕張新都心の目指すべき姿」の導き方を変更	骨子案では幕張新都心の目指すべき姿の3本の柱について確認し、原案においては、骨子案にて確認した幕張新都心の目指すべき姿までの書き方を見直した。 骨子案では「7.幕張新都心の目指すべき姿」を導く際に、「1.2.3.」と「4.5.6.」それぞれから導いていたが、3本の柱である3つの分類が途中から出てくるため、目指すべき姿の唐突感を課題としていた。原案ではより伝わりやすい書き方を検討し、納得感を向上させるために、「1～6」を踏まえ「7.幕張新都心の目指すべき姿」という書き方へ変更している。
2	全体	将来構想・フロー	3			骨子案では「3.幕張新都心の現在の姿」と「8.現状分析」と整理していたものを原案では「3.現状分析」として一つに整理	骨子案では目指すべき姿と現状との差（ギャップ）を現状分析において整理していたが、現在の姿と類似する内容が多いことから、原案では内容を整理し、現状分析へ統合している。
3	7章 目指すべき姿	まちづくりの理念	34	フロンティアスピリットを継承し世界・アジアと競合し得る日本のトップランナーであり続ける都市 常に未来を追い求め、チャレンジを繰り返しながら成長する都市	人と街のチャレンジが続き、ここにしかない嬉しい新しさが生まれる都市 常に未来を追い求め、チャレンジを繰り返しながら成長する都市	まちづくりの理念において幕張新都心らしさの表現を「トップランナー」から「人と街のチャレンジが続き、ここにしかない嬉しい新しさが生まれる都市」に変更	骨子案では「幕張新都心らしさ」＝「トップランナー」として表現していたが、幕張新都心らしさをどのような言葉、表現で伝えるべきか再度検討し、幕張新都心で生活している人に寄り添った表現となるよう見直した。
4	7章 目指すべき姿	幕張新都心のありたい姿（3本柱）	35	多様な人・活動を受け入れ応援する（包摂性）	多様な人・活動を受け入れ応援する（多様性）	「包摂性」を「多様性」へ変更	骨子案では、これまで幕張新都心が多くの人、活動を受け入れてきた姿から「包摂性」という表現にしていたが、今後の幕張新都心の目指すべき姿としての包摂性を考えた際に、具体化は困難ではないかと検討した。多くの人や活動を活かし、またより伸ばすという観点のより伝わりやすい表現方法について検討し、「多様性」という表現へ変更している。
5	8章 幕張新都心のまちづくりの変革の方向性		36～41	①新規性・先端性 ・誘致から誘致プラス育成への変革 ・個々の尖りから融合、連携による尖りへの変革 ②包摂性 ・多様な人、活動の許容から推進、応援する土壌づくりへの変革 ・新たなライフスタイル等新常態受け入れへの変革 ③都市経営 ・役割分担から相互乗り入れへの変革 ・新たな価値を生み出す都市経営への変革	①まち一体となって新たなコト・モノが生み出せる豊かな環境づくり ②当初の理念を尊重しながら、現在のライフスタイルの多様化にも対応した誰もが憧れる住環境を築く ③多様な活動主体が刺激的で先端的な学びのできる環境を創出する ④既存の魅力的な資源をより豊かに活用し、まち全体の楽しさを高める ⑤既存の資源を柔軟に活かし、繋げることで、各エリアの融合を促進し、一体感を醸成する ⑥住民・企業など多様な主体が手を取り、幕張新都心に誇りを持つための取り組み・基盤づくり ⑦誰もが幕張新都心で安心して暮らせる基盤づくり	骨子案ではまちづくりの方向性を①新規性・先端性、②多様性、③都市経営の3本の柱を軸として整理していたものを、原案では、7つの視点を軸に整理している	骨子案では幕張新都心のまちづくりの変革の方向性を3本の柱ごとに整理していたが、3つの分類が途中からでてくるため、唐突感を課題としていた。 原案では、3本の柱の幕張新都心のありたい姿に向けてどういった視点でどのように街を発展させていくかを検討した時に、納得感を向上させるためにも、「職・住・学・遊」の機能を踏まえた上で7つの視点で表現している。

2 骨子案から追加した内容

No.	章	該当項目	該当ページ	追加した内容	考え方
1	10章 幕張新都心の都市像		3	「10.幕張新都心の都市像」を新たに追加	本将来構想を策定し、これまでの歴史を踏まえ、幕張新都心の更なるまちの発展に向けて、期待、効果を改めて明示した。